

# 歯科医師会活動報告

## にいがた健口文化フォーラム2016 in メディアシップ

2016年11月27日(日)新潟日報メディアシップにおいて、にいがた健口文化フォーラムが開催されました。「運動と食事で創る未来の健康」をテーマに歯や口の健康をはじめ身体全体の健康づくりを推進するため、特別講演や歯と口の健康づくりに関する情報提供、歯科相談などのブース出展、よい歯の図画・ポスター・標語作品の展示があり多数の方の来場がありました。特別講演では元プロ野球選手で野球解説者・評論家、野球指導者の桑田真澄氏による講演「桑田真澄の生き方～すべては、野球から学んだ～」があり、約300名の参加者に向け、ご自身の現在・過去・未来に対して熱弁をふるわれました。第一線で活躍された方の発言は貴重な財産になったのではないでしょうか。



## 第37回 歯と口の健康フェア

2016年6月5日(日)に、新潟市と新潟市歯科医師会主催で「歯と口の健康フェア」を開催致しました。今年は、「健口で延ばそう健康寿命」をテーマに行いました。我々が生きていくためには欠かすことのできない食事。そして食べるためには無くてはならない器官が「歯」です。平均寿命と健康寿命の差は10歳以上もあると言われています。お口の健康は体の健康に大きく関連すると言われ、口腔機能を維持する事は健康寿命を延ばすのに必要不可欠です。お口の健康に関して、それぞれの団体ならではの啓発イベントや、例年好評の白衣の着せ替えや指の型取りのような体験型イベントも行いました。用意したスタンプラリーが終了前に無くなってしまう程の大盛況で、無事に終えることができました。

## NPO法人 日本歯科ボランティア協会

新潟市中央区開業 理事長 長谷川 了

日本歯科ボランティア協会はミャンマーに於ける歯科医療支援だけでなく、ミャンマーの子供たちにノートなどの学用品を支給する活動や両国での文化交流事業を行っているNPO法人であります。

今回当会はミャンマー保健スポーツ省と覚書を交わし歯科分野ではミャンマー初の国際NGOとなりました。ミャンマーでは民主化に伴う急激な食生活の変化による子供たちの口腔環境の悪化が予想され、私たちの学校健診においてもその傾向が確認されました。新潟は全国で一番子供の虫歯の少ない県であります。我々はこの児童生徒の虫歯を減少させたノウハウをもっておりました。私たちはミャンマーのこの段階において予防処置を講じることが喫緊の課題だと考えております。そこで当会は保健スポーツ省、教育省、大学や歯科医師会など関係諸機関と連携を取り、歯科健診や歯磨き指導を行い、データを集め、日本で実施されていると同様な学校歯科保健制度導入を求め、それを担う人材育成に協力していきたいと思っております。

